

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	笠間市家庭教育支援チーム「はっぴー子育て応援団 いばらき」
活動開始年度	2012 年度（平成 24 年度）
活動拠点	笠間市立友部公民館
活動範囲	笠間市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業（学校・家庭・地域の連携協力推進事業） <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 （ ）
組織体制	<u>4</u> 人 筑波大学 小児科助教 医師 1 名 筑波大学 医学医療系 准教授 1 名 つくば国際大学 医療保健学部看護学科 准教授 1 名 笠間市職員 1 名
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他（ ） 【活動内容】(これからの目標) ・子育てサロンの開設 活動拠点の地域に、子育てを終えた様々な年齢の方と保護者や子供達が気軽に集えるサロンを設ける。たわいもない会話やつぶやきの中から子育てや日常生活のヒントを得る。地域の人との関わりから学校生活と家庭生活につながる情報を集める場所としては有効と考える。 ・食べる親子教室の開催 子ども食堂の場を借りて、一緒に食事を作り、一緒に食べる親子教室を年に数回開催する。食事を一緒に作り、食べ、楽しむことで会話も広がり、親子の絆も深まる。ひいては、少しでも孤食を減らす事につなげることができる。 ・情報交換の組織づくり 学校や児童相談所などと連絡を取り合うだけでなく、地域の人材からなるチームを中心として、週 1 回程度、学校、地域、関係機関が会してフラットな情報交換できる体制を作る。

活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演後のアンケートでは、子育てに対しての不安や親としての悩みが軽減できた、子育てに前向きな気持ちになれたという意見があった。 ・ 子育てを終えた様々な年齢の方とふれあう場の設置が必要との意見が多く、親子が集い、人とふれあい、気軽に話せる環境整備が求められた。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの都合で講演・講座の活動が中心だったが、今後はチームのメンバーに専門家ではない人たちを集め育て、アウトリーチもできるチームを目指し、専門家と地域をつなげる活動に積極的に関わることで地域での課題の発見や問題の未然予防も含んだ支援体制の構築を進めていく。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参加できる地域の人を増やし、ネットワーク作り ・県内の大学の教諭や学生との連携作り ・子ども達にグローバルな視点での教育(Global Friends)の企画
問合せ先	<p>(TEL) 0296-73-5205(留守電に用件と連絡先を登録してください)</p> <p>(E-mail) happy.child.japan@gmail.com</p>